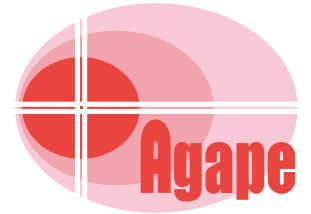


ご自由にお持ち帰り下さい

wakamatsu  
dayori

若松  
だより



特定医療法人  
アガペ会



日本医療機能評価機構  
第JC423号 認定病院

## 愛は寛容であり、親切です ..... 1

素敵な結婚式がありました ..... 2

自動車運転シミュレーター導入 ..... 3

グループホームわかまつの紹介 ..... 4

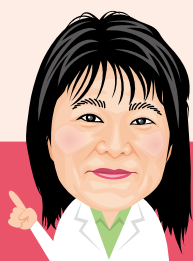
技能実習生たちががんばっています ..... 5

Medical Healthy Recipe・御節（おせち）料理 ..... 6

「北中城若松病院療養者の権利」について ..... 6

2024  
132  
号





# 愛は寛容であり、親切です

アガペ会理事長 涌波 淳子

新年あけましておめでとうございます。2024年も神様のお守りうちに、皆さまとともに迎えられたことを心から感謝いたします。

先日、ある講演会の準備の中で「沖縄県の要介護者の内、認知症の方は約55,000人で、それは県内のオートバイの数とほぼ同じである」という事に気づきました。これまでのデータから「認知症予備軍」と言われるMCI（軽度認知機能低下）の方は、認知症高齢者と同数程度おられると言われており、私たちが道でバイクをみかける以上に、認知機能の低下を抱えながら働いたり、買い物したりしている方が街で生活しているという事になります。

以前、テレビでコンビニのレジでもたつくおばあさんに後ろで並んでいるヤンキーのなりをした若者が「焦らなくてもいいんだよ」とラップで話しかける広告がありました。MCIとまではいなくても、年を取るだけでも様々な事が不自由になります。「〇〇のアプリはありますか」とか聞かれると「あったかもしれない」とスマホを出すけど探せずもたもたし、後ろに人が並んでいるとますます焦ってしまいます。それが続くと買い物に行くことも外にでることもおっくうになってしまいますね。

認知症予備軍の方のみならず、高齢者が認知機能や身体機能を保って元気で生きるためには、「バランスの取れた食事、運動、睡眠、基礎疾患の管理」等とともに「他者と触れ合う事や社会の中で活動すること」がとても大切だと言われていますが、高齢者や障がい者が社会の中に出ていくためには、周囲の受け入れる環境が必要です。

今年のアガペ会の聖書の言葉に「愛は寛容であり、親切です（第1コリント人への手紙13章4節）」を選びました。人は失敗もするし、新しい場所や新しい場面ではもたもたもする、また、病気になったら不安にもなります。そんな時に、周囲で関わる方たちが「焦らなくてもいいんだよ」と寛容に受け入れ許す心で接してくれるとどれほど心強いことでしょうか。また、困っている時に親切に声をかけあえる社会は、小さな子供を抱えたお母さんや認知症の方やそのご家族だけではなく、全ての人にとって孤独を癒し温かく生きやすい社会になるのだと思います。超高齢社会を「幸齢社会」にするのは、一人一人の「愛（寛容と親切）」の心だと思うのです。

2024年、アガペ会は、「寛容と親切」を元に、アガペ会理念「アガペ（神の愛）に生かされ、アガペ（神の愛）に生きる」、すなわち、「療養者・利用者とそのご家族の幸せ、職員とその家族の幸せ、地域社会の幸せ」をめざしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

# 素敵な結婚式がありました

チャプレン室 瑞慶山 真

アガペ会に関わりのある療養者様のご家族から「アガペ会の牧師さんに結婚式の司式をしてほしい」という申し出を受けました。

その療養者様は、訪問診療、訪問看護や訪問介護、訪問リハビリ、ケアマネジャーが関わってきた方で、若松病院や若松苑でも療養されていた方でした。ご病気を患ってから長く、今では起きて座ることも難しく奥様がつきっきりで介護をしているご家庭でした。

療養者様の奥様は、医師であるお嬢様から「大好きなお父さんも一緒に結婚式をしたい」と打ち明けられ、「娘の願いを叶えたい」、「一人娘の花嫁姿を主人に見せてあげたい」と主治医に相談し、実現に向け話し合いが持たれました。コロナ禍や療養者様の体調のこともあって、式の当日に両家が初めて顔を合わせることとなりましたが、「第一にしてきた娘の思いに引き寄せられるようにして、ここまで整えられてきました」と奥様はお話してくださいました。

新郎新婦、両家のご両親とご兄弟が花嫁の実家に集まった手づくりの結婚式は、温かく愛に包まれたとても素晴らしいものでした。「お父さんも一緒」というお嬢様の思いが、式のどの場面を通して目に見えるかたちに表されていて、療養者様が見えるように、聞こえるように、温

もりが感じられるようにと、新郎新婦と両家のご家族が同じ思いで療養者様のベッドを囲んでいました。

司式を行なったチャプレンは、時おり花嫁が見せる療養者様を見つめるまなざしや経管栄養の速度を確認する姿に療養者様は、「医師としても自分を支えてくれている娘の姿を心強く感じて安心しておられたようだ」と話していました。

写真撮影の時には、長年の療養生活を支え、この日を迎えるために伴走してきた訪問看護、訪問介護、訪問リハビリのスタッフもお祝いにつけてくれました。花嫁の手を握ったり、療養者様の肩に手をおいたり、花嫁と療養者様の交互に「とてもきれいだよ、お幸せにね」、「おめでとう」、「私も嬉しい」と思いを伝え合う姿は、まるで自分の家族や親友の結婚を祝福する姿のようでした。「ちゃんと伝わっていますね、表情を見たら分かります。こんなに嬉しそうなお顔をされているんですから」と療養者様の肩に手を置いてスタッフが話しかけられたそうです。

みんなに囲まれ、穏やかな表情されている療養者様は、一人ひとりに「ありがとう」と言ってくださっているようでした。



チャプレン室  
「こころのサプリメント」

# 自動車運転 シミュレーター導入

リハビリ部 稲垣 弘樹 (理学療法士)

沖縄県内の自動車台数は2021年で約115万5000台と言われており、県民1人あたり約0.79台保有しており、電車の無い沖縄では自動車運転は日常生活に深く掛かる重要事項となっています。しかし、何らかの病気で障害を負った際や、加齢による認知機能低下で自動車運転の継続が難しくなってしまふことがあります。

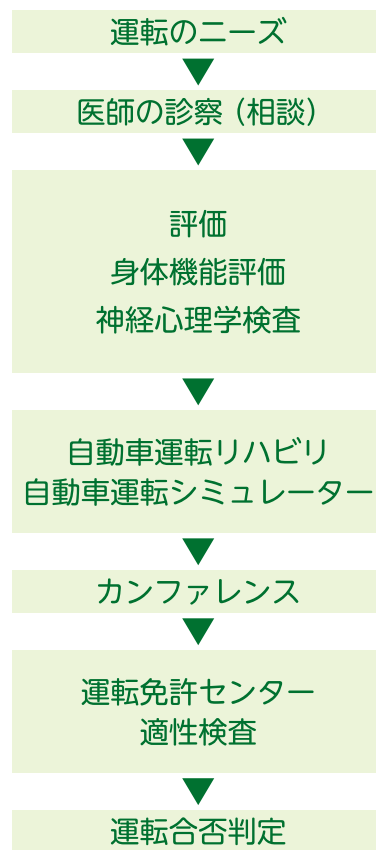


当院回復期リハビリ病棟に入院中の患者様からも『退院後は仕事をしたいが車が必要』『外出するには車が必要』など自動車運転再開に関する希望が多く聞かれました。そのため、2023年10月より自動車運転シミュレーターを導入し、自動車運転能力の評価・リハビリテーション・社会生活支援を開始しました。

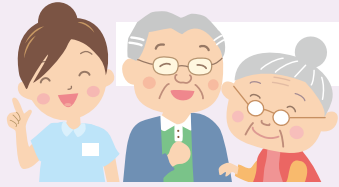
## 自動車運転再開の条件として

- ①全身状態が安定していること
- ②視覚障害（視野の欠損及び半側空間無視）がないこと
- ③座位がとれアクセル・ブレーキ操作が可能なこと
- ④運転に必要な高次脳機能（注意・遂行・視空間機能）が保持されていること **が必要です**

まずは、これらの条件を科学的に評価し、リハビリテーションプログラムを作成し、症状に応じて運転操作の反復学習訓練を行います。その後、今回導入した「自動車運転シミュレーター」を使用し、総合結果をもとに医師を交えカンファレンスを行います。最終的には運転免許センターにて適性検査を行い運転可否が判定される流れとなります。



当院回復期リハビリ病棟では、皆様の日常生活から社会生活・職場復帰についても全職種でサポートしています。自動車運転についても『もう一度運転をしたい』という希望を叶える為の支援を致しております。時には自動車運転の再開が厳しいと判断されることもありますが、その際には運転の目的に応じて代替え案の提案を行い、ご本人もご家族も満足できる日常生活・社会生活を送ることができるようチーム一丸となり全力でサポート致します。



## グループホームわかまつの紹介



### 入居者、利用者、家族の笑顔を大切に

「やさしさに包まれ笑顔で生き生きと安心できるグループホーム」  
を基本方針に地域に貢献できるグループホームを目指しています。

管理者 伊芸 豊史 (介護福祉士)

グループホームわかまつは1ユニット9名の2ユニット合計18名の入居者が生活されており、認知症があっても、可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、家庭的な環境と地域住民との交流のもと、食事や入浴などの日常生活上の支援を行っています。また、北中城村内の認知症高齢者を対象に、グループホーム内の共用スペースを活用したデイサービスや、介護者が緊急を要する理由で在宅介護ができなくなった場合に最大7日間利用できるショートステイも行っています。

お楽しみ企画では四季を感じられるよう、季節に合わせたイベント(七夕まつり・敬老会・クリスマス会)を開催しています。一方では認知症の進行にともない、徐々に食事量が低下し、終末期に向かわれる入居者と家族が、慣れ親しんだホームで安心して最期の時をすごせるようにも支援しています。

### サービスについて

**グループホーム** 【入居人数】1ユニット9名の2ユニット 合計18名  
【対象者】認知症の診断があり、北中城村内に住所がある方、要介護認定を受けている高齢者が入居できます(要介護1～要介護5)

**共用型  
デイサービス** 【利用人数】1ユニット3名、1日の利用人数合計6名まで受け入れ可能。  
グループホームわかまつを共用した認知症対応型デイサービスです。  
ご自宅からお迎えし、グループホームの入居者とゆったりとした時間を過ごせます。

【対象者】認知症の診断があり、北中城村内に住所がある方、要介護認定を受けている高齢者が利用できます(要介護1～要介護5)

【営業日】月～金曜日(土日祝休み)

**緊急  
ショートステイ** 認知症の診断があり、北中城村内に住所がある方、要介護認定を受けている高齢者で、(要介護1～要介護5) 居宅ケアマネジャーが緊急と判断した場合、1ユニット1名まで、最大7日間利用可能です。

ご相談・お問い合わせ・見学などお気軽にご相談ください

TEL.098-935-1021 FAX.098-979-6087 ■相談窓口：瑞慶覧(ケアマネジャー)・伊芸(管理者)



# 技能実習生たちが がんばっています

介護老人保健施設若松苑  
入所介護課 課長  
當眞 嗣人（介護福祉士）



## スリランカからの技能実習生

2022年にスリランカから若松苑にやって来ました、技能実習生のお二人、アヌーシャー・スバーシニーさんとバーシニー・クマーリさんですが、2023年8月で来沖一年になりました。初めての日本、初めての沖縄での介護技能実習、異国での生活は色々あったと思いますが、介護職員としての成長は目を見張るものがあります。その歩みをご紹介します。

## 上達し続ける日本語

二人はスリランカでも日本語の勉強はして、簡単な日常会話ができるレベルでしたが、ずっと日本語の勉強を続けていて、みるみると上達し、今では漢字も書ける程になりました。さらに静岡県出身の職員Kさんが宿舎に同居してからは、私生活でも日本語に触れる機会が増え、語彙が飛躍的に増えた上に、最近はうちなーぐちも少し話します。11月に開催された技能実習生の日本語作文コンクールでアヌーシャーさんは日本語の難しさをこう述べています。「職員にやかん持ってきてといわれた時、やかんはどうやって持って行くのかな？と思いました」。[私は夜間とっていたけれど、お湯を入れるやかんのことでした]。今となっては笑い話ですが、日本語は同音異義語がとても多いので私たちも気をつけるようにしています。来年の7月には日本語能力試験N2を受験する予定です。

## 介護技術と料理

介護技術に関しては、2023年1月に介護技能実習評価試験初級を一回で合格し、認知症基礎研修も修了試験に何度かチャレンジして合格しました。加えて、料理がとても上手なお二人。それを披露する場が、2023年7月に重度認知症デイケアあしやぎで開催された、「ちむゆる会」でした。この会は認知症の方とご家族、そして職員の憩いの場です。残念ながら7月はコロナの影響で直前にリモートになりましたが、本場のスリランカ料理の調理風景を参加者に動画で送ることで、スリランカ料理の奥深さを知っていただける機会となりました。もちろん味も絶品で、参加者に弁当にしてお配りしました。



## 実習満了のあと

そんな充実した日々を送っているお二人ですが、実習が3年を満了すると一時帰国します。その後、技能実習3号としてさらに2年間技能実習行なうのか、本人たちは検討中とのことです。今後、本制度も見直しされるようで、今後の動向も注視しながら、実習生に寄り添って、介護技術の指導を行なってまいります。



御節(おせち)料理は、節会(せちえ)や節句に作られる料理で、節日(祝の日)のうち最も重要なのが正月であることから正月料理を指すようになりました。お正月料理の『おせち』は各ご家庭様々ですが、今回はアガペ会職員崎原さんの【崎原家秘伝のちらし寿司】をご紹介します。



## 崎原家秘伝のちらし寿司

【切り方・作り方】<材料 4~5人分>

- ① 切り方は蓮根はいちょう切りにし、それ以外は千切りにする。
  - ② 酒大さじ1、醤油・大さじ3、砂糖大さじ2杯、白だし大さじ1、椎茸のもどし汁200ccで、甘め・少し濃いめに味付して仕上げます。冷ました後、具材を酢めしに混ぜます。味のポイントとしては白ごまを入れる事(風味が全然ちがうとの事です)。
  - ③ 仕上げはピンク色のしょうがの漬物、錦糸卵、きざみのりを散らし色鮮やかに飾ります。
- ★ 崎原家のちらし寿司はその日、その時に目に付いた食材をプラスしていくため、毎年、出来上がりが違うそうです。皆さんもぜひ、我が家の『おせち』作ってみて下さいね。

【酢めし】●3合分 ※すしの素(粉)など使用

【具材】●山菜(わらびなど)・・・50g ●牛蒡・・・50g  
●筍・・・・・・・・・・・・50g ●干し椎茸・・・3枚  
●蓮根・・・・・・・・・・・・50g ●かまぼこ・・・50g  
●人参・・・・・・・・・・・・100g ●白ごま・・・適宜

【飾り】●ピンク色のしょうがの漬物・・・・・・・適宜  
●錦糸卵・・・・卵2ヶ分 ●きざみのり・・・適宜

## 「北中城若松病院療養者の権利」について

- ①個人の人格を尊重した医療やケアが受けられます。  
個人の人格、価値観などが尊重され、医療従事者との信頼と協力関係のもとで医療やケアを受けることができます。また、終末期ケアを受ける際もできる限り個人の尊厳が保たれ、あらゆる可能な助力を受けることができます。
  - ②必要な医療やケアを平等に受けられます。  
社会的身分・人権・宗教などの差異、または障がいの有無に関わらず、必要な医療やケアを平等に受けることができます。
  - ③十分な情報を得ることができます。  
ご自分が受けている医療やケアについて、理解できるまで説明を求めることができます。またご自分の診療録の開示を求めることができます。
  - ④自己決定が尊重されます。  
十分な説明と情報提供を受けた上で、自由な意思にもとづいた治療方法の選択、決定が尊重されます。また自己決定の際に、主治医以外の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
  - ⑤個人の情報は守られます。  
診療に関する個人の情報は守られます。ご本人の承諾なくして、直接関わる医療従事者以外の第三者に対し開示されることはありません。  
ただし法的義務のある場合や生命の危機に瀕する場合は、その限りではありません。
- ※なお療養者ご本人が、明確な意思表示をできない場合でお困りの際は、医療福祉相談課または病棟課長に遠慮なくご相談ください。



アガペ会理念

アガペ(神の愛)に生かされ、アガペ(神の愛)に生きる

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい(聖書 ヨハネ福音書13章34節)

《理念の意味》アガペとは「神様の愛」というギリシャ語です。私たち職員は、神様と周囲の多くの方々に愛されて生きてきた事を感じ、神様が愛されている目の前の療養者・利用者とそのご家族の皆さんの幸せ、職員とその家族の幸せ、地域社会の方々の幸せを目指して医療とケアを提供していきます。

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311  
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- 地域包括ケア病棟
- 回復期リハビリ病棟
- 認知症治療病棟
- 特殊疾患病棟
- 認知症デイケア あしやぎ

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 327  
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- 入所療養介護
- 短期入所療養介護
- 若松苑デイサービス
- 若松苑訪問リハビリテーション

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

3F ..... サービス付高齢者住宅 アガペファミリー ☎/098-935-4165

2F ..... グループホームわかまつ ☎/098-935-1021

1F ..... ファミリークリニックきたなかぐすく  
☎/098-935-5517 FAX/098-982-0708

通所リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-982-0717

訪問看護ステーション若松 ☎/098-935-5818

訪問リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-923-3154

B1F ..... ヘルパーステーション若松 ☎/098-935-5202

ケアプランステーション ゆい  
☎/098-935-3066・098-935-5968

地域医療包括ケアセンター事務所 ☎/098-935-3093  
クリニック以外の事業所の FAX は 098-935-5855 (共通)

看護小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地 1 (1F)  
☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

グループホーム若松 ぎのわん  
デイサービス若松 ぎのわん

〒901-2201 沖縄県宜野湾市新成 1-20-6  
☎/098-892-5104 (グループホーム) FAX/098-892-5111  
☎/098-892-5105 (デイサービス) (両施設共有)

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2  
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま  
新オレンジサポート室

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3  
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067 (ふてんま)  
☎/098-943-4085 FAX/098-943-4702 (新オレンジサポート室)

宜野湾市赤道老人福祉センター

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 1-5-17 ☎/098-893-6400

宜野湾市伊利原老人福祉センター

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4-3-17 ☎/098-890-7131

<https://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております

